



京大探偵団

クスノキを調査せよ!!

GWに入ろうかという頃、探偵団に手紙が届いた……

探偵君（以下探）：はあ。もうしばらく仕事はないと思ってたのに……。

先輩探偵（以下先）：なんだ早くも五月病か？ どれ貸してみろ。……なににな、「時計台前のクスノキの歴史について調べてください」か。

探：何とかしてくださいよせんぱーい。

先：天下の京大探偵団が何たるザマだ。俺についてこい。

探：（いつもはやる気ないくせに……）

先：何か言ったか？ さっさと行くぞ。

2人は時計台記念館へと向かった。

探：先輩。どこですか、ここ？

先：京都大学大学文書館だ。京大に関するさまざまな資料や写真を所蔵しているんだ。クスノキの資料もあるだろう。

探：へえ、さすが先輩。物知りですね。

先：探偵は情報収集が基本だからな。ではさっそく調べておいてくれ。

探：あれ？ 先輩はどうするんですか？

先：少し気になることがあるんでな。違うところに聞き込みをしてくる。

探：では後で落ち合いましょう。

（数時間後）

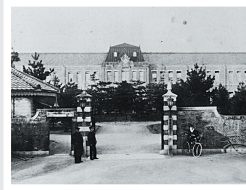
探：あ、先輩。おかえりなさい。何かわかりましたか？

先：クスノキの現状について業者に話を聞いてきた。そっちはどうだ？

探：少し気になる部分は残りますがこれくらいが限界だと思います。

先：よし、これで今回の調査は完了だな。

探：お疲れ様でした!!



▲正門と焼失前の理工科大学本館。クスノキではなく、松の並木が植えられている。



▲時計台が竣工して間もないころの初代クスノキ。



▲1938年頃の2代目クスノキ。まだ小さい。



▲大学紛争時のクスノキ。伐られかけた影響で、葉の一部が枯れている。

調査レポート

現在のクスノキは2代目で、初代が1934年の室戸台風で折れた後に植えられたものである。初代のクスノキが植えられた年代は明確にはわからないが、写真から、理工科大学本館焼失（1912年）～時計台竣工（1925年）の間に植えられたものであるということがわかる。2代目クスノキは、1969年の大学紛争において切り倒されようとしたこともあったが、現在まで70年以上の間、時計台の前に立っている。

1912年	理工科大学本館焼失
19??年	初代クスノキが植えられる
1925年	時計台竣工
1934年	室戸台風で初代クスノキが折れる
1935年	2代目クスノキが植えられる
1969年	学生の手により伐られかける

～おまけ～

現在のクスノキの管理は周辺の松の木と共に、(株)小林造園に任せられている。特に普段から世話をしているわけではないが、クスノキの状態の調査や枯れた葉の剪定などを行っている。数年前の調査の結果は、葉の色は勢いのあるクスノキに比べて少々薄いのが、数カ所の枝の枯れも樹木自体への影響はないとのことだった。時計台改修から約2年間、灌漑等ができなかったため、樹勢の衰えに繋がったものと推定される。対策として、2004年3月に水はけや外気の流入を改善する酸素管をクスノキの周り数箇所に埋めこんだという。 **文責 京大探偵団**

※この記事に使用した写真は、すべて京都大学大学文書館からの提供です。

はみだし
すてーじ

高橋くんへ

節度をわきまえてください

⇒だそうです。心当たりがある高橋くんは以後気をつけてください。

（農・3 エミネム）

（高橋って名前多いよね；編）